
令和3年度 事業計画



社会福祉法人 **きらめき** 会
KIRAMEKIKAI

法人理念

笑顔

>>

地域への笑顔

利用者様への笑顔

ご家族への笑顔

自分への笑顔

すべての人が笑顔で過ごせる施設を目指して。

きらめき会の目指すビジョン

地域を笑顔にする。

地域に根付いた、
地域に愛される施設を作り
地域を笑顔にする。

きらめき会の行動指針

3つの指針。

1 基本に忠実であること

福祉があるべき基本的な姿勢に忠実であり、本質を見失わずに邁進すること。

2 積極的に物事を考えること

積極性を持ち、より質の高い介護サービスの提供に尽くすこと。

3 心のこもった行動をすること

ご入居者様・ご家族さま・地域の皆様・共に働く仲間に愛情を持ち、心をこめて全ての業務に従事すること。

重点実施目標

<法人>

- ・ 災害や感染症対策の見直し
- ・ 人財育成の仕組みづくり
- ・ 採用戦略の見直し
- ・ BCP策定とシミュレーション
- ・ 研修計画の充実（内部研修の充実）
- ・ 地域との関わり方を見直し
- ・ 働きやすい環境づくりの構築

<八潮いこいの里>

- ・ QOLの向上
- ・ 看取りケアの質向上と検証
- ・ 利用率95%維持
- ・ 入院者の減少
- ・ 離職率の低下
- ・ 安定した雇用

<横浜いこいの里>

- ・ QOLの向上
- ・ 登録人数平均22名確保
- ・ 利用者受入体制の強化
- ・ 地域との連携強化
- ・ 他法人と交流

<若葉いこいの里>

- ・ 1ヶ月で満床
- ・ 職員の離職防止
- ・ 働きやすい環境づくり
- ・ 介護の質の向上

社会福祉法人きらめき会
法人本部

2021年度事業方針



1. 感染症対策とBCP

① 感染症対策の見直し

新型コロナウイルスだけでなく、その他の感染症を含め定期的に感染症対策の見直しを実施する。災害及び感染症における対策本部を設立する。

② BCPの見直し

BCPの見直しとシミュレーションの実施を行う。策定するだけでなく、シミュレーションを定期的に行い都度見直しを行っていく。また、研修も定期的に行い職員の理解を深める。

③ ご家族や地域との関わり方

コロナ禍により面会禁止の期間が長くご家族との関わり方を一から考え直さなければいけなくなった。現在は、オンラインミーティングのツールを使用した面会をしているが、もっと施設を身近に感じれるような仕組みを作る。



2 職員の能力を活かす研修プログラムの充実

① 人財育成課の推進

新人職員のOJTやOFFJTは人財育成課が主体になって研修を行うなど、人財育成課の役割を明確化し、部署の人数も増加して強化を行う。

② 採用と定着支援の見直し

採用は新卒、専門職、ローカル、外国人採用など対象者別の戦略や情報発信の方法を構築します。定着については、事業拠点ごとに目標設定を行います。

③ 外国人介護職員用の研修

特定技能や技能実習生、留学生や永住権をもった外国籍の介護職員に向けた研修を実施する。日本語教育や初任者研修、実務者、介護福祉士の養成講座などの実施をする。



2 他法人&地域との連携強化とバックオフィス業務の改善

① 他法人と連携した人材育成

他法人と連携して人材育成プログラムを実施していくほか、人材交流を深めることで、職員が客観的な視点を持ち、職場の改善に取り組みやすい環境を整えます。

② ICTの活用とバックオフィスの強化

情報収集を定期的に行い、業務改善につながるICT導入を進めていきます。又、ICT推進委員会の発足を目指し、現在導入しているICTの見直しや改善に努めます。

③ 地域との連携強化

地域の人とケアを中心としたコミュニティを構築し、地域を笑顔にすることが私たちのビジョンです。こども食堂の実施、喫茶いこいの実施など、地域の方々にかかれた場所づくりの提供を行います。

特別養護老人ホーム
八潮いこいの里



■ 特別養護老人ホーム八潮いこいの里

- ◇事業所名
特別養護老人ホーム 八潮いこいの里
〒340-0824 埼玉県八潮市坂526-1
- ◇事業開始日
平成30年4月1日
- ◇事業内容
特別養護老人ホーム事業
定員：従来30名 ユニット90名 計120名
老人短期入所事業（空床利用）

施設長コメント

今年度は、コロナウィルス感染症が蔓延し、外部研修に参加することがほとんどなく、思うような研修の成果を出すことが出来なかった。職員もいつ感染するか分からない状態の中で働いており、疲労とストレスが普段以上にかかっていた。なにより、入居者やご家族に色々と制限して頂く場面が多く、ご迷惑をおかけしてしまった。

来年度は、災害や感染症などに対する「事業継続計画の実施訓練」や「安心して働けるような職場環境の改善」に重点を置き、取り組んでいきたい。

「事業継続計画」

1. 地域の方々が安心して施設に来られるようかかわりを持つ
2. 近隣の小学校や保育園、幼稚園

「職場環境の改善」

1. 八潮いこいの里で働き続けたいと思える職場環境を作る
2. 働き方改革を活用し、働きやすさを追求する
3. 介護ロボット等、ICT化を図る

サービス部門別行動目標

<八潮いこいの里> 介護課介護部

<目 標>

- ◇ ユニットケアの実施
- ◇ 研修の充実化
- ◇ 人事考課の確立

<取 り 組 み>

- ◎ 今年度は、リーダーを中心に勉強会と情報の共有、一般職員向けにユニットケアの考え方の研修を行った。来年度から本格的にユニットケア実施に向けた動きを行う為の1年だったので、来年度はユニットケアの実施に力を注いでいきたい
- ◎ キャリア別にグループ分けをし、そのキャリアに合った研修内容で開催することを目指す。研修担当をリーダー以上の役職者や専門職が担当し、介護職をメインに参加してもらい、介護の質や考え方、ケアの統一を図っていく
- ◎ 人事考課の運営が正しく出来ていないことを踏まえ、見直しを行った。見直したことを踏まえて、来年度は役職者と面談を確実に行って目標設定を行い、達成に向けた関わりが持てるよう実施・改善を行う。また、個々の職員に対して、適正な評価を行えるようにするため、評価したものに対しての根拠付けを行えるよう実施していく

サービス部門別行動目標

<八潮いこいの里> 介護課相談部

<目 標>

- ◇ 円滑な入居・稼働率95%以上を維持
- ◇ 新規加算取得の取り組み

<取 り 組 み>

- ◎ 作成退居後、空いている期間が長くないよう、他事業所やご家族と連携をとり、スムーズな入居を進めていく
- ◎ 基本サービスに盛り込まれる現行の加算があるため、排泄支援加算や科学的介護推進体制加算などの取得をする

サービス部門別行動目標

<八潮いこいの里> 介護課医務部

<目 標>

- ◇ 他部署との情報共有の強化
- ◇ 看護の質の向上
- ◇ 介護士の医療に対する知識の共有化

<取 り 組 み>

- ◎ 情報がうまく伝達出来ていないこともあるため、情報を確実に伝達できる仕組みを作る
- ◎ 入院者の増加に伴い、入院する前の通院や往診で対応出来る様、日々の観察や適切な受診ができるよう、往診医や病院と連携を図る
- ◎ 身体の仕組みや構造、どうして体調が悪くなるのかなどのメカニズムを勉強することで、医療の知識を持ち、看護師の指示がなくても自発的に予防策を打てるようにする

サービス部門別行動目標

<八潮いこいの里> 事務課事務部門

<目 標>

- ◇ 担当業務の責任
- ◇ 早期対応
- ◇ 必要、不要の見直しと管理

<取 り 組 み>

- ◎ 各々の仕事で、的確な行動をおこない、秘密事項の遵守をする。
- ◎ 依頼されたことを、早期に対応をおこない、滞ることなく円滑にまわるように行う。
- ◎ 必要な物はしっかりと用意したうえで、無駄な物を省いて、削減できる費用があれば対応をしていく。

小規模多機能型居宅介護
横浜いこいの里



■ 小規模多機能型居宅介護 横浜いこいの里

- ◇事業所名
小規模多機能型居宅介護 横浜いこいの里
〒245-0015 神奈川県横浜市泉区中田西4丁目2番43-2
- ◇事業開始日
平成22年4月1日
- ◇事業内容
小規模多機能型居宅介護
介護予防小規模多機能型居宅介護
登録定員：29名（内通所：17名 泊り：8名）

サービス部門別行動目標

<横浜いこいの里> 管理・介護部門

<目 標>

- ◇ 登録の人数を常時22名を超えるように営業活動を強化する。コロナ禍で地域との関わりが薄くなっているため、コロナ禍でも地域とどう関わっていくかを検討する。地域との連携強化として地域交流を深め地域の方々を巻き込んで施設を盛り上げていく。

<取 り 組 み>

- ◎ 営業の強化。きらめき通信を月に1回、ご家族や担当、居宅、病院、包括に送付をする。
また空き情報などFAX or メール or TELにて連絡を定期的に行う。
- ◎ 新規利用者及び臨時・曜日追加の積極的な受入を行う。
- ◎ 家族との信頼関係を大切にして、充実した在宅生活の継続を支援する。
- ◎ 他法人や他施設と交流を図りながら、新しい気付きをサービスに取り入れていく。
- ◎ ICT（ケアコラボ）を理解活用し、記録の充実を図る。
- ◎ コロナの状況にもよるが、泉区内で実施しているイベントに参加し、地域との交流を図る。また、施設内で行うイベントには地域の方々に声をかける。

特別養護老人ホーム
若葉いこいの里



■特別養護老人ホーム 若葉いこいの里

- ◇事業所名
特別養護老人ホーム 若葉いこいの里
- ◇施設予定地
千葉市若葉区若松町531-156
- ◇事業開始日
令和3年4月1日 開所予定
- ◇事業内容
特別養護老人ホーム事業 定員：80名（ユニット）
短期入所生活介護事業 定員：20名
合計：100床

施設長コメント

本年度は、職員の確保と入居者＆利用者の確保に努めた。

【職員の確保】

新聞広告やチラシではなく、ネット広告を強化して募集を行った。結果、2020年4月から募集を開始し、2021年2月末までの間に約300もの応募があった。八潮のオープニングでは、ネットではなく新聞広告やチラシを重点的に行っていたが、応募総数は約150と2倍以上の差があることが判明。今後はネットを強化し募集活動を進めていく。

【入居者の確保】

地域新聞に広告を掲載、千葉市内外への営業活動により入居者の確保はスムーズに行えた。特養ショート含め、目標は1ヶ月で満床。

次年度では、まずはオープンから「1ヶ月で満床」を目指す。また、オープニングにあたり混乱なく入居者の受け入れを行うことと職員の離職防止に取り組んでいきたい。